

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第1区分
 【発行日】令和6年7月18日(2024.7.18)

【国際公開番号】WO2023/190437
 【出願番号】特願2024-512513(P2024-512513)

【国際特許分類】

C 0 4 B 3 5 / 4 9 7 (2 0 0 6 . 0 1)
 H 1 0 N 1 5 / 1 0 (2 0 2 3 . 0 1)
 F 2 5 B 2 1 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)

10

【F I】

C 0 4 B 3 5 / 4 9 7
 H 1 0 N 1 5 / 1 0
 F 2 5 B 2 1 / 0 0 Z

【手続補正書】

【提出日】令和6年4月30日(2024.4.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(1)：

$(1 - m) P b S c_{0.5 - x} T a_{0.5 + x} O_{3 - m} P b M g_{0.5 - y} W_{0.5 + y} O_3$
 (1)

[式(1)中、

mは、0.03 ≤ m ≤ 0.60を満たし、

0 ≤ x, yの場合、x, y ≤ 0.1かつ0 ≤ x + y ≤ 0.13を満たし、

30

0 > x, 0 ≤ yの場合、-0.1 ≤ x < 0かつ0 ≤ y ≤ 0.1を満たし、

0 ≤ x, 0 > yの場合、-0.1 ≤ x, yかつ-0.13 ≤ x + y < 0を満たし、

0 < x, 0 > yの場合、0 < x ≤ 0.1かつ-0.1 ≤ y < 0を満たす。]

で表されるセラミックス。

【請求項2】

前記式において、

0 ≤ x, yの場合、0 ≤ x + y ≤ 0.1を満たし、

0 ≤ x, 0 > yの場合、-0.1 ≤ x + y < 0を満たす、請求項1に記載のセラミック

ス。

【請求項3】

40

前記式において、xは0であり、yは0である、請求項1または2に記載のセラミック

ス。

【請求項4】

前記式において、mは、0.05 ≤ m ≤ 0.5を満たす、請求項1に記載のセラミック

ス。

【請求項5】

前記セラミックの結晶構造が、ペロブスカイト構造を有する、請求項1に記載のセラ

ミック

【請求項6】

貴金属電極と請求項1に記載のセラミックとが交互に積層された電気熱量効果素子。

50

【請求項 7】

前記貴金属電極が Pt から形成されている、請求項 6 に記載の電気熱量効果素子。

【請求項 8】

請求項 6 または 7 に記載の電気熱量効果素子を有して成る電子部品。

【請求項 9】

請求項 6 または 7 に記載の電気熱量効果素子を有して成る電子機器。

10

20

30

40

50